

# 新パンフレット 「大人のための お金と生活の知恵」の ご紹介〈後編〉

金融広報中央委員会では、「大人のための お金と生活の知恵」という新しいパンフレットを作成しました。その中から今回は、「お金の管理と運用」についてご紹介します。

■新パンフレット表紙



## より豊かで安心できる 生活のために

まず、何のためにお金の管理と運用について学ぶのでしょうか。色々な考え方がありますが、パンフレットでは、「より豊かで安心できる生活のために」と整理しています。

## ライフプランの下で考える

お金の管理や運用を考える際、「自分のライフプランの下で考える」ことが大切です。今後の人生や生活のどのような用途に使うお金なのか、お金の目的に応じて考えましょう。

## まず貯蓄

まずはある程度のお金を貯蓄することが必要です。貯蓄がなければ安心した生活を送ることは難しいためです。貯蓄が少なかつたために、不意の出費に際

してお金を借り、それが多重債務のきっかけになった例も多いそうです。

どの程度の貯蓄が必要かは、その人の状況次第です。「月々の生活に必要なお金」の「1〜2年分」が目安ともいわれます（病気、失業等の可能性を考慮したもの）。自分にとって「これだけのお金がつてあれば、まず安心」と思える額がどのくらいか、考えてみましょう。

「生活に必要なお金」はなくなると大変です。またすぐに使えないと困ります。預金は「安全」「現金に換えやすい」「決済に使える」ため、こうしたお金の管理に向いています。運用にあてるお金は、必要な貯蓄を確保し、心のゆとりを保つうえで、「当面は使う予定のないお金」で行うことが望まれます。

## 役立つ知識・知恵

貯蓄や運用に際して役立つ知識や知恵をご紹介します。詳しくはパンフレットを参照ください。

### ① 継続は力

貯蓄や運用を行う場合、少ない金額でも毎月継続すれば、長期的には大きな金額になります。

### ② 複利の力、「72の法則」

「複利」とは、「利子にもまた利子が付く」ことです。複利の力は、長期的には非常に大きくなります。「72の法則」とは、「72÷金利÷お金の2倍になる年数」。例えば金利3%の場合、72÷3＝36ですので、36年で2倍になることがわかります。変形すると「72÷金利÷お金の2倍になる金利」です。20年でお金を2倍にしたい場合、72÷20＝3.6ですので、金利3.6%で運用する必要があります。

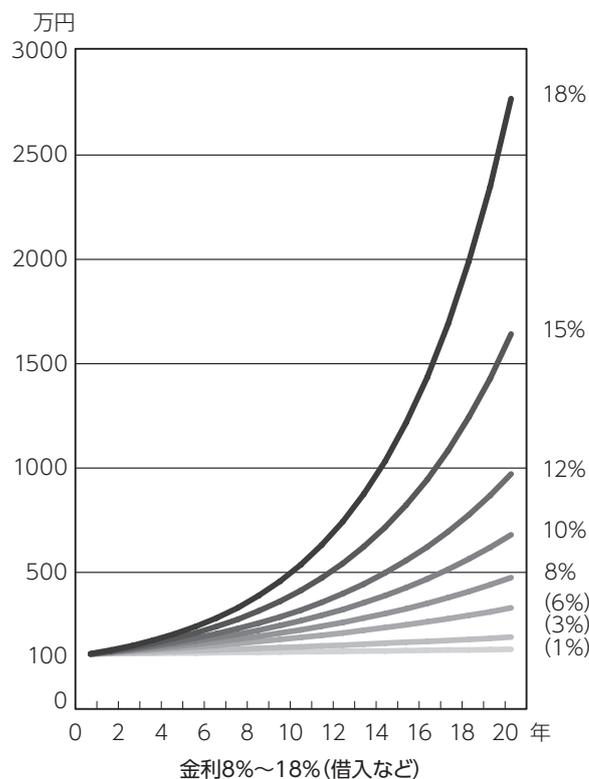
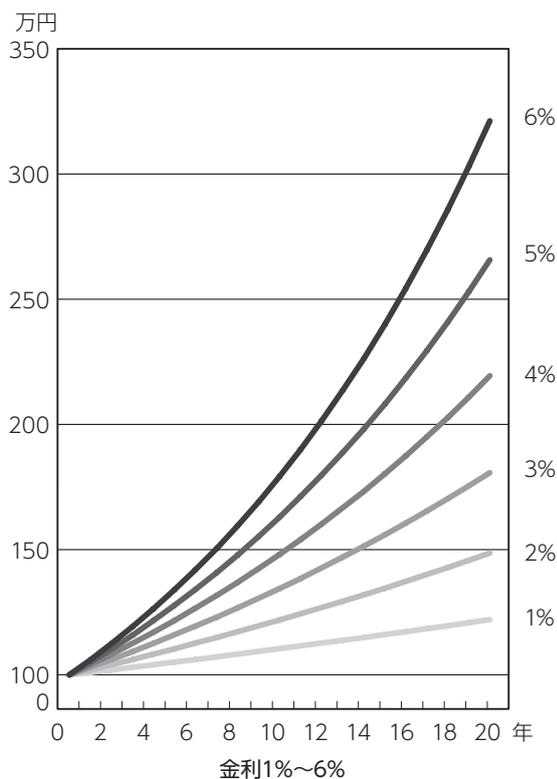
### ③ 「安全性」「収益性」「流動性」

金融商品は、「安全性」（お金が減らない）「収益性」（利益が出やすい）「流動性」（現金に換えやすい）の3つで評価できます。3つとも優れる金融商品はありませんが、お金の目的に照らし、どれを重視するかを決めて、金融商品を選ぶ必要があります。パンフレットでは預金、債券、株式、投資信託の特徴を紹介しています。

### ④ リスクとリターンの関係

「リターン」とは、お金を運用した結果得られるもの（利益や損失）。「リスク」とは、利益や損失が出る可能性（不確実性）。一般に、「高いリターンを得ようとすると、リスクも高まる」（ハイリ

## 複利の力



スク・ハイリターン)、「リスクを低く抑えよう」とすると、リターンも低下する(ローリスク・ローリターン)との関係があります。「リスクなく高いリターンを得られる」ことはありません。また、「リスクを高めれば必ずリターンが高まる」ものでもありません。

### ⑤分散投資、長期投資

お金を運用する際、投資対象の分散を進めることにより、資産全体のリスク(価格の振れ)を減らすことができます。投資時期の分散も、例えば毎月「一定額」を購入することにより、「価格が高いときには少なく、価格が低い月には多く買う」ことができます。

お金の運用を長期間行うと「複利の力」が大きく働きます。長期的な観点から行うと、一時的な価格下落時に慌てて売って損失を出さずに済む効果が考えられますし、投資時期の分散も行いやすくなります。

### ⑥コスト

金融商品にはさまざまなコストがかかります(手数料、信託報酬、税金など)。コストは運用成果に確実に影響しますので、コストに敏感になることが大切です。

### ⑦金融経済情勢に応じて

お金の運用は金融経済情勢を

踏まえて行うことが大切です。パンフレットでは基本的な内容を紹介しています。

### ⑧トラブルを避ける知恵

「お金に関する正しい話はない」と肝に銘じる、「自分が完全に理解できる金融商品しか買わない」と決めておく、情報は「どのような立場から提供されているか」に注意する、「自分だけは大丈夫」と思わない、などが重要です。

### 本パンフレットをお読みいただくには

当委員会のホームページ(知るぼる) <http://www.shinporuto.jp/> をご覧いただけます。冊子をお読みにになりたい場合には、左記の宛先にメールまたはファックスにてご連絡ください。

宛先:金融広報中央委員会 刊行物担当

●メールアドレス  
books@saveinfo.or.jp

●FAX番号  
03-3510-1373

件名:刊行物請求

記載事項:①申込者氏名、②郵便番号、③送付先住所、④電話番号、⑤本パンフレットの名称(「大人のための お金と生活の知恵」)、希望部数、⑥利用目的・利用日、⑦その他連絡事項